

クラス番号	907	担当教員名	吉村 譲
テーマ	社会的養護を基にして子どもと家族を考える		

ゼミナール概要

<目的、内容、方法等>

基礎演習は1年次に学んだことを基にして、専門演習の研究につなげるためのものです。そのためこの演習では、研究するための基礎となる力を身につけることを目的とします。そして専門演習において研究したいことをみつけることもこの演習の目的です。

担当者はこれまで教護院（現：児童自立支援施設）の心理職員、児童相談所の心理判定員（現：児童心理司）、児童養護施設、母子生活支援施設の心理担当職員といった子どもと関わる現場での仕事を多くしてきました。子どもと関わる時には子どもだけを見ていても解決できないことがたくさんあります。そのため家族についても考えられるようになることが大切です。さらに家族が生活する地域や社会についての理解も必要です。そういった視点を持ちながら、社会的養護について考えていきたいと思いをします。

すでに1年次に学んだ人もいますが、この演習では、文献を読み、整理し、レポートや論文を書くための基礎的な学習から始めたいと思っています。その後、専門的な文献や資料を取り上げ、それについてゼミのみなんで考えたいと思っています。担当者が演習の中で取り上げたい話題は、児童養護施設や母子生活支援施設などの子どもや母親の生活やそこでの心理治療的活動、施設の現状や抱えている課題、子どもと家族への支援、社会的養護を担うさまざまな社会資源などです。そういったことに関する文献などを講読し、話し合った後に、子どもと家族に関する自分自身のテーマをみつけ、レポートを作成することにしたいと考えています。

<授業計画>

前期：演習の仲間を知る

文献の読み方、情報収集の仕方、レポート作成方法、論文作法などを学ぶ

文献の講読し話し合う

後期：自分のテーマを考える

レポートの作成し、提出する

レポートに基づくプレゼンテーションを行う

*使用テキスト

学習技術研究会編著 「知へのステップ」 くろしお出版

*上記以外の使用文献・資料

授業において紹介します。

担当教員からのメッセージ



レポートや論文作成のための基本的なことを学ぶことから始めます。そのため前期は子どもや家族といった領域の学びのための時間は十分に取れないかもしれません。後期にはそういった領域の話題を取り上げ、自分自身のテーマを見つけてもらいたいと思っています。担当者は非常勤であるため、演習以外で皆さんとともに学ぶ時間は持てないと思います。そのため各自が意欲的に学ぶ姿勢が求められます。この演習が、将来、子どもや家族と関わる児童福祉の現場で仕事をしようと思っている人にとって役立つような場になることを望みます。